

エコーン通信

Social welfare corporation, Hanakobo welfare society

2017年2月20日発行

発行者 社会福祉法人 花工房福祉会

〒381-2226 長野市川中島町今井1387-1

TEL:026-283-4187 FAX:026-283-8703

E-mai : ecorn87@mx1.avis.ne.jp

We live together and live together.

花工房福祉会の未来予想図

今年度も残すところあと僅かとなりました…走り続けている花工房福祉会の平成29年度はどうなっていくのでしょうか？各セクションの担当者にその思いを聞いてみました。

マルチグループ

☆来年度のマルチ…難しいテーマですね。28年度は目まぐるしく時が過ぎていった1年のように感じました。毎日小さな変化をみんなで感じながら時には怒ったり、笑ったりと良い意味で忙しいマルチでした。29年度も日々の変化に一喜一憂しながら一緒に働いていくマルチでありたいと思います！（グループ長：中村真美）



生活Aグループ

☆平成29年度、生活Aグループは引き続き、職員・利用者さん、皆で一緒に協力しながら、元気に、楽しみながら、健康的に過ごしていきたいです。配達や資源回収もウォーキングしながら！（かな？）一人ひとりのペースを大切に、でも出来るところはズク出して！皆さん、がんばりましょうね～☆（グループ長・サービス管理責任者：山口絵美）



生活Bグループ

☆本年度、生活Bグループでは、大型の公用車が一台増えたこともあり、そこに小型のリヤカーを積みこみ、遠隔地でのリヤカー販売を実施しました。川中島地域だけではなく、若穂、共和、信更町、松代など様々な地域で販売したこともあり、Bグループでは、高齢者世帯、山間部世帯の買物支援の役割を担っていければと考えています。（グループ長：町田智）



就労移行支援事業

☆平成28年度は、就労移行支援から1名の方が就職しました。就労移行支援は有期限（2年間）であり、理想は期間内での就職です。ただ時間をかけてスキルアップし、就職をされた方もいます。就労移行支援は基より、就労継続支援B型からも「就職したい」と言う方が増え、一人でも多くの方が就職できるよう支援していきます。
（就労移行支援事業担当・サービス管理責任者：玉井徹）



相談支援事業

☆来年度もご本人の思いに寄り添った相談支援事業を展開していきたいと思っております。サービス管理責任者や他の関係機関と連携しながら、ご本人中心の視点で進めていきます。花工房福祉会内では、サービス等利用計画と個別支援計画との連動が一層できるように、支援会議と個別懇談のあり方を見直して支援の充実を図っていきます。
（計画相談担当・相談支援専門員：浅岡明彦）



事務・法人本部

☆社会福祉法が平成29年度から大きく変わります。公益性や非営利性に見合う経営組織や財務規律を実現し、地域社会に貢献するという社会福祉法人本来の役割を実現できるよう求められています。その取組みを、「見える化」を意識して花工房福祉会も前進していきます。
（事務長：榎本厚志）



朝陽事業所・そいてい

☆来年度の朝陽事業所は・・・新しい味の充填豆富を新発売する予定でございます！！パッケージやら何やらまだまだ開発中ですが、他のお豆富とは差別化を図り、プレミアム性のあるお豆富として、販売できるよう未来予想図をにやにやと描いています♪
皆様ご期待くださいませ！！
（グループ長：鈴木友里枝）



炭房ゆるくら

☆来年度の炭房ゆるくらは、施設外就労から本来やるべき里山整備（「薪ステーション」事業）へとスイッチを入れ直し、冬場中心の守りの薪販売から、夏場も自宅で乾燥していく攻めの薪販売を展開していきます。山作業に興味のある方、木のぬくもりを味わいながら、自然の中で一緒に活動しませんか。炭焼きも年間を通して行います。

ぜひ、山フィールドへお越しください。

（炭房ゆるくら サービス管理責任者：今井広樹）



わくワーク

☆未来予想図という事で様々な想像ができますが、この際、思い切ったことを書いて引くに引けない状況を自分に課したいと思います。来年度のわくワークは

- ①平均工賃3万円を維持
 - ②新規事業を立ち上げる
 - ③三輪地区や長野に愛される事業所を目指していきたい
- …と思いますので来年度も宜しくお願い致します。

（わくワーク 目標工賃達成指導員：宮澤綾）



パン&スイーツグループ

☆来年度のパンGは利用者さんのやる気と技術の向上を図ります！

全員が必ず何か1つは新しい仕事を習得し、自分の手でお給料を稼いでいる！という働く喜びを増やせる1年を目指していきます。（グループ長：大日方涼子）



共同生活援助・短期入所事業

☆来年度も、利用者さんそれぞれのペースで、その人らしく過ごせる雰囲気と居場所づくりを大切にしながら、安心して暮らせる第2の家を目指していきます。

(グループホーム サービス管理責任者：山口絵美)

ECOプロジェクト

☆工賃向上というテーマで平成20年度から始まったECOプロジェクト会議は、工賃向上の手段と方策を求め、共に考え、実行するための会議でした。しかしながら、工賃向上だけを目標とする時期は、少なくとも花工房福祉会に於いては既に終わっていると感じています。工賃向上は最早大前提であり、そこにサービス等利用計画や個別支援計画の内容が加味されていく様な、利用者さんの自立を目的とした包括的な計画策定の場として様変わりしていくことになると思います。生きるために必要な事の1コンテンツとして所得の保障(獲得)があり、その担保としてのECOプロ会議がある。これからも利用者さんの人生に追い風を吹かせる…そんな会議でありたいと思っています。(プロジェクトリーダー：米山勝也)

…いかがでしたでしょうか。担当者それぞれのキャラクターと意気込みを感じていただけたのではないかと思います。これら各セクションが有機的に連携し、支え合う事が花工房福祉会のストレングス(強み)の一つです。この強みを来年度以降も活かして参りたいと思っております。

さて、次はいよいよ所長が描こうとされている「未来予想図」です。花工房福祉会を牽引する小池所長のビジョンを伺い、ここに載せた全員の思いを重ねて締めくくりたいと思います。

エコンファミリー・ゆるくら・わくワーク所長

☆先日、朝の一番忙しいパン工房に、袋止めの仕事を頼まれて入りました。工房の中では職員も利用者もなく、皆、自分の役割を持って手際よく、手先を器用に動かしながら無駄なく働いていました。

平成13年、障がい者の通所する事業所としての居場所がスタートしてから、「共に生き・共に暮らす」を理念に掲げて、通ってくる一人ひとりの利用者の特性を見極めながら、その人が一番輝く出番を作っていく、その中で自分の得意とする役割を見つけ、「生きるしあわせ」、「働く喜び」を感じながら毎日を過ごしてきました。

そして、これからはこの川中島地域の皆さんと一体になって歩いていく事、即ち「地域といっしょに」を目指しながら事業を推進していかなければならないと考えます。(小池邦子)

【編集後記…座右の銘】

☆為せば成る。為さねば成らぬ何事も。成らぬは人の為さぬなりけり…上杉鷹山の言葉ですが、「やればできる。やらなければ何もできない。できないのはやらないからだ。」と訳せますね。とにかくやってみよう。間違えたらやり直せばいい。私はこれからもそうして参ります。

(米山勝也)